



施設に移り住んでも、日中は地域に戻る暮らし

逆デイサービス全国セミナー in 福島

ユニットケアの先に見えてきた地域での生活

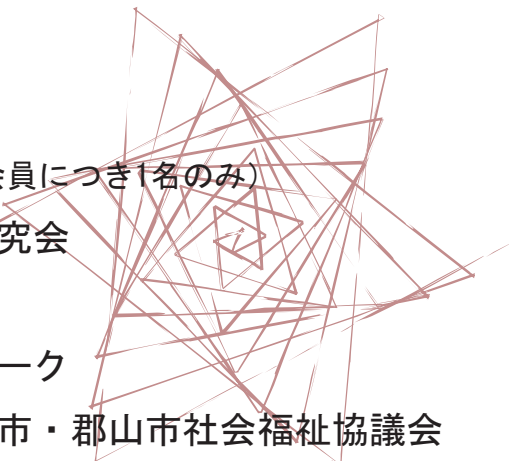
施設に移り住んでも、その人らしく、入居前と変わらないような日常を送ってもらいたいという思いから出発した「ユニットケア」。提案からわずか4年足らずで制度は確立され、大規模施設の新しいケアとして広がり始めている。

ユニットケアは、宅老所のケアとそこでの暮らしを、大規模施設に取り入れることによって誕生したもの。痴呆症の高齢者を「何もわからない人」と決めつけ、回廊式の廊下を歩きたいだけ歩いていただく、という時代にあって、民家を活用した宅老所では、痴呆症の高齢者にスタッフが寄り添い、これまでの日常の延長のような普通の暮らしをおくっていた。こうした宅老所の現実、大規模施設のスタッフにとって衝撃的なものであった。

そのような現実の中で生まれたユニットケアの取り組みは、大規模施設に生活を取り戻すきっかけとなった。しかしながら、宅老所の暮らしにあったような、地域社会とのつながりの中で日常をおくるといふことには至らず、あくまでも施設の建物の中での暮らしの充実という域を脱するものではなかったのである。

そこで取り組まれてきたのが、施設に入居しても日中は地域社会とのつながりの中で過ごす「逆デイサービス」なのである。もともとユニットケアを先駆的に取り組んだ施設の多くは、この逆デイサービスの実践を通して、ユニットケアにたどりついたという歴史をもっている。

今回のセミナーは、「ユニットケア推進のきっかけとなった「第1回特養・老健ユニットケア全国セミナー（1999年10月）」の開催地である福島県郡山市の磐梯熱海温泉において、逆デイサービスの意味を考えるとともに、ユニットケアの本質にも迫るものとして開催する。

- 
- ❖ 日 時 2003年12月13日（土）～14日（日）
 - ❖ 会 場 郡山ユラックス熱海
 - ❖ 定 員 250名
 - ❖ 参加費 15,000円（交流会員は13,000円 但し、1会員につき1名のみ）
 - ❖ 主 催 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会
 - ❖ 共 催 地域サテライトケア推進プロジェクト
宅老所・グループホーム全国ネットワーク
 - ❖ 後 援 福島県・福島県社会福祉協議会・郡山市・郡山市社会福祉協議会

〔初日〕

時 間	内 容
12:30～12:50	開会 主催者 来賓挨拶 福島県社会福祉協議会 会長 山 田 広 助
12:50～14:20 (90分)	基調ディスカッション / 「逆デイサービス」とは何か。その意味を考える パネラー 特養・せんだんの杜（宮城県） 高齢福祉部長 小野寺 道 子 宅老所やまがた・あべさん家（山形県） 代表 阿 部 昭 典 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会代表 武 田 和 典 コーディネーター 東北福祉大学 総合福祉学部 教授 高 橋 誠 一
14:20～14:40	休憩
14:40～17:10 (150分)	セッション1 / 逆デイの実践から気づかされたこと 実践報告者 特養・同和園(京都府) 副園長 橋 本 武 也 特養・白滝荘（山口県） 介護主任 杉 野 富美枝 特養・せんだんの杜ものう（宮城県） 住居介護課 6 丁目担当 芳 賀 和 博 サポーター 釧路地区障害老人を支える会（北海道） 代表 岩 淵 雅 子 千葉県健康福祉部健康福祉政策課政策室 室長 野 村 隆 司 コーディネーター 県立高知女子大学 助教授 玉 里 恵美子
19:00～21:00	懇親会

〔2日目〕

9:30～12:00 (150分)	<p>セッション2 / 逆デイの多様な展開から見てきたこと</p> <p>パネラー</p> <p>特養・宮城県和風園（宮城県） ケアワーカー 上 田 紀晴子</p> <p>特養・せんだんの杜（宮城県）住宅介護課課長 亀卦川 龍一</p> <p>知的・かりがね学園（長野県） 生活支援員 竹 内 洋 一</p> <p>サポーター</p> <p>宮城県保健福祉部障害福祉課 課長 黒 田 秀 郎</p> <p>全国社会福祉協議会・</p> <p>中央福祉人材センター 参事 諏 訪 徹</p> <p>コーディネーター</p> <p>大阪府立大学社会福祉学部 専任講師 藤 井 博 志</p>
12:00～13:00	昼食
13:00～14:50 (110分)	<p>総括ディスカッション / 逆デイサービスの今後の展開を考える</p> <p>～ 逆デイの先に見える「地域生活支援」のあり方を考える～</p> <p>報告者</p> <p>きなっせ（熊本県）代表</p> <p>／宅老所・グループホーム全国ネットワーク 代表世話人 川 原 秀 夫</p> <p>老健・グリーンケアハイツ（福島県） 管理部次長 稲 本 恵 子</p> <p>厚生労働省老健局計画課 課長 石 井 信 芳</p> <p>福島県保健福祉部参事（兼）</p> <p>高齢保健福祉グループ参事 小 泉 修 一</p> <p>コーディネーター</p> <p>季刊・痴呆性老人研究 編集長 泉 田 照 雄</p>
14:50～15:00	閉会

申込みに関する問合せ

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-6-1 東武仙台第1ビル6階
 JTB団体旅行東北支店 営業三課 担当：阿部友香里・堀越
 TEL:022-296-3362 FAX:022-296-3327

内容に関する問合せ

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会
 事務局：全国コミュニティライフサポートセンター
 〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平5-3-18-207
 TEL:022-719-9249 FAX:022-719-9251